

令和3年第10回 日高市教育委員会会議録

開催の日時	令和3年10月28日（木曜日） 午後2時9分から4時3分まで
会議開催の場所	市役所501会議室
会議の公開又は非公開の別	公開。ただし人事案件については非公開。
非公開理由	個人に関する情報が含まれるため。
出席委員の氏名	中村一夫（教育長）・山川治美・島村由起男・新堀陽子・芳澤佐織
欠席委員の氏名	なし
説明員の職氏名	教育部長 大野仁・教育部参事 秋馬信之・教育総務課長 野口重昭・学校教育課長 志村憲一・学校教育課副参事 利根川典正・生涯学習課長 中條智則・図書館長 小林克己
出席した事務局職員の職氏名	教育総務課主幹 大河原夏樹
傍聴者数	0人
会議資料の名称	会議次第・教育長報告・議案第32号、33号、配布資料一覧

議題及び決定事項等

- 議案第32号 日高市教育振興基本計画策定等委員会委員の委嘱について
原案どおり可決
- 議案第33号 職員の分限処分について
原案どおり可決

会議の経過

- 1) 前回会議録の承認事項 一部修正後承認
- 2) 教育長報告の要旨
 - 校長会議、教育委員会部課長会議における教育長指示・伝達内容について報告した。
 - その他、各部課長から、実施した事業等の結果と今後の予定を報告した。
- 3) 教育長報告についての質疑及び答弁の要旨

【教育長報告関連】

(委員) 教職員の今年度の定年退職者は6人で、再任用希望者が13人とあるが再任用の期間はどれほどなのか。

(学校教育課長) 退職者の内、希望する者が再任用となり、期間は最長で5年であ

る。

(委員) 10月に入ってから市内での新型コロナウイルス感染症の感染状況はいかがか。

(教育長) 感染者は5人で10月17日以降はいない。

(委員) 集団免疫は75%のワクチン接種で獲得されるといわれている。国は3回目のワクチン接種を実施する方向で動いているが、接種する目的を明確に示してほしいと思う。15歳未満の子どもにワクチンを接種しているが、当初想定していたより副反応を訴える子どもが少なかった。副反応は20代から40代の女性が多くを占めている。

(委員) 小中一貫教育のアンケートではどういった意見が寄せられたか。

(教育部参事) 保護者の大半は賛成であった。教員については部活や卒業式、入学式等、不安の意見が寄せられた。

(教育長) 教員たちは、なかなかいままでのイメージから脱却できない。日高の子どもたちをよりよくしていくという気概で取り組んでもらいたい。

(委員) 今後、少子高齢化はさらに進行していくため、教員の柔軟性は不可欠である。そこが欠けているのが問題である。リスクマネジメントについても通じるものがあり、肝心の時に報告が上がってこないことになる。

(委員) 土・日曜日の部活動を学校単位から地域単位へという考えがあるようだが、民間のクラブチームとの住み分けしっかりとつけておいたほうがよいと思う。地域の特性もあるので、導入するならばよく検討してほしい。

(教育部参事) 近隣だと、所沢市と鶴ヶ島市が導入しているため、現在メリットやデメリット等の情報を収集しており、令和5年度からの導入に向けて検討を進めている。

(委員) デメリットをなくすことはできないので、民間チーム等とよく調整していくことが大切と考える。

(委員) 校長や教頭の登用者が不足しているとあるが、子どもが減少する中、なぜ不足するのか。

(教育長) 採用が少なかった世代が校長や教頭の対象となり、登用者が不足している状況である。埼玉県において多いときは、小学校教員の採用が1,200人の年度もあったが、少ない年度では80人というときもあった。採用のアンバランスのしわ寄せがきている。

(委員) 学校の質の低下が心配である。なり人手不足に対し具体的にどんな対策が取られているのか知りたいところである。

(委員) 以前民間からの校長採用を試みたがうまくいかなかった。

(委員) 民間校長が孤立してしまった。民間には耐えられないのではなく、民間を受け入れられないという柔軟性のない教員組織が悪いと思う。そこは勘違いしてはならない。今後、柔軟性が出てこなければ学校教育の質は低下すると思う。

(委員) 導入したタブレット端末について、保護者の話で、「YouTubeを見ることができるようになるため、家庭に持ち帰って子どもが視聴するようになってしまった。」
「今まで視聴させないようにしてきしたが、台無しになってしまった。」という

意見を聞いた。YouTube は自分の見たいものが見たいときに見ることができ、時間を忘れて視聴してしまう。YouTube を使用しないでタブレットを活用することができればよいと思う。GIGA スクール構想が子どもに悪影響となってしまうのは本末転倒である。

(委員) 日高塾等でタブレットを導入するなどして、教員たちで作成した動画を配信することができれば、疑問点などが質問しやすくなる。身近な人が出ている動画で勉強ができる環境を整えることが大切であると思う。ただし、動画作成には時間がかかるため、有志で行わざるを得なくなる。

(学校教育課副参事) 地域の方、教員にも ICT の知識や技能をもった者がいる。オンラインでできることの拡大、地域とのつながりを大切にしていきたい。タブレットを文房具の一つとして活用し始めている。次のステップに向けて日高塾での導入についても検討していきたい。

(教育長) 高麗地区の日高塾において、タブレットを活用したことがあった。

(学校教育課副参事) 自宅学習システムの取り組みを紹介した。

(委員) 令和 4 年度の人事の見通しと課題はいかがか。

(学校教育課) 義務教育学校設立に向けた人事配置や専科指導加配などバランスを考えて行っていきたい。

(委員) 小中一貫教育に向けて先生方に不安があったことについては、子どもを預ける立場としては不安を感じる。

(教育長) 今までのやりかたから未来志向になれていない所もある。よりよくしていくという気持ちになってもらいたい。

(委員) 現場の先生の雰囲気や心構えができていなくては進まない。

(教育部参事) アンケートを実施したのは、施設一体型を予定している 3 地区で行ったものである。地域や保護者は前向きであるが、教員に柔軟性が欠けている。校長からもっと意識改革をしてもらうよう促している。

(学校教育課長) 以前視察に行った義務教育学校でも、教員は初めは不安であったが実施していくうちに新たな発見や良さに気付いていった。課題はあるがデメリットはないと聞いている。子どもたちに対しては良い取組である。

(委員) タブレット端末の活用について、分散登校が終了し、高麗川小では毎日持ち帰り連絡帳もタブレットを活用するようになったが、かなりの重量があるため、毎日持ち帰ることは検討が必要と思われる。また、活用に関して、教員によって技術格差が見受けられる。格差を減らしてもらいたい。分散登校中の朝の会をオンラインで行ったことはよい取組であった。YouTube の視聴については、再考が必要と思われる。

(委員) 地域部活動化については、教員が土日に部活動を見ることは大変なことであるが、生徒のモチベーション保持が難しくなる可能性があるので早めの検討が必要と思われる。

(委員) 読み聞かせボランティアとはどういった方々か。

(図書館長) 個人のかたで、長年図書館の読み聞かせに賛同いただいているボランティアである。グループで活動はしておらず、基本的には個人で活動している。

(委員) 運動会の開催状況はいかがか。

(教育部参事) 小中学校 12 校中、8 校が開催済み。今後 4 校が実施予定である。高萩北小 10 月 30 日、高萩小 11 月 9 日、高根小 11 月 19 日、武蔵台小 11 月 27 日の予定である。各校で新型コロナウイルス感染症の対策を講じながら実施していく。

(委員) 修学旅行についてはいかがか。

(教育部参事) 7 校が実施済み。高麗川中、高萩北小、高麗川小は今後実施予定で、高麗小と高萩北中は場所、日程を現在調整中である。緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の対象地域へは旅行しないことを基本に実施している。

(委員) 全国で修学旅行においてクラスターの発生報告はあるのか。

(教育部参事) そういった情報は入っていない。

(委員) 現在の少ない感染状況が続けば、成人式も一堂に会して行ってよいと思う。

(教育長) 現在は新成人のみ一堂に会す形で進めている。今後の感染状況により柔軟に対応していきたい。

4) 議案についての質疑及び答弁の要旨

議案第32、33号

【非公開のため記載せず】

5) その他

(1) 次回定例会の日程等について

○11月定例会：11月30日（火曜日）午後1時40分から 委員了承

○12月定例会：12月21日（火曜日）午後1時40分から 委員了承